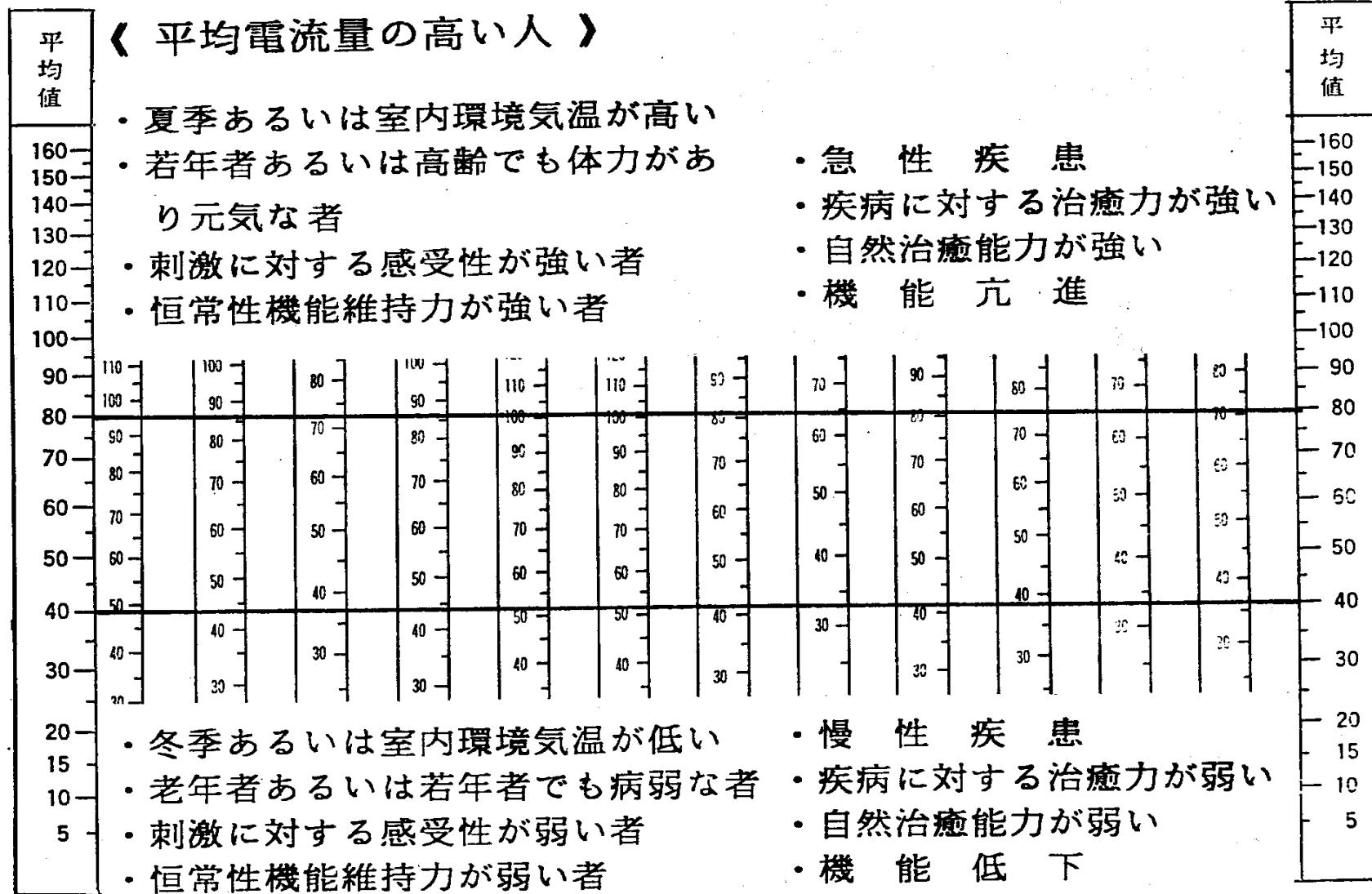


良導絡

良導絡概要3 自律神経カルテの読み方
治療方法、症例

新船橋はりきゅう整骨院
佐藤 秀治

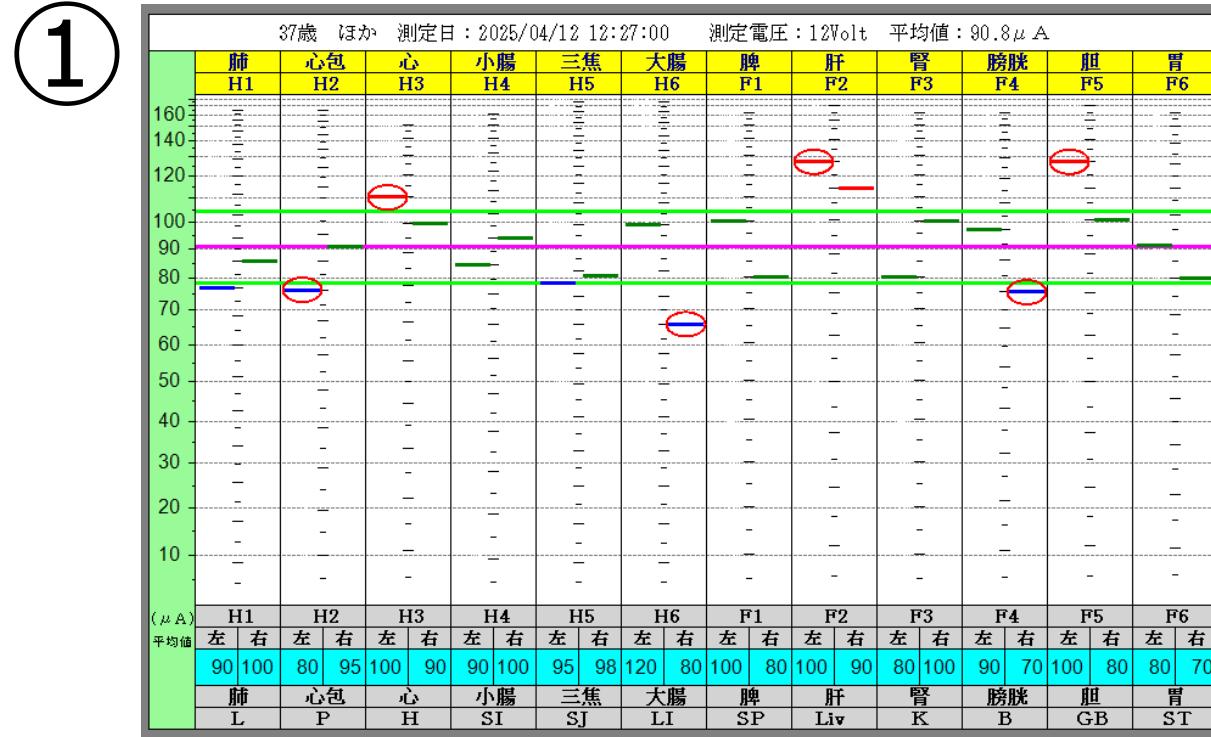
平均値（生命活動度）の見方



チャートの読み方1

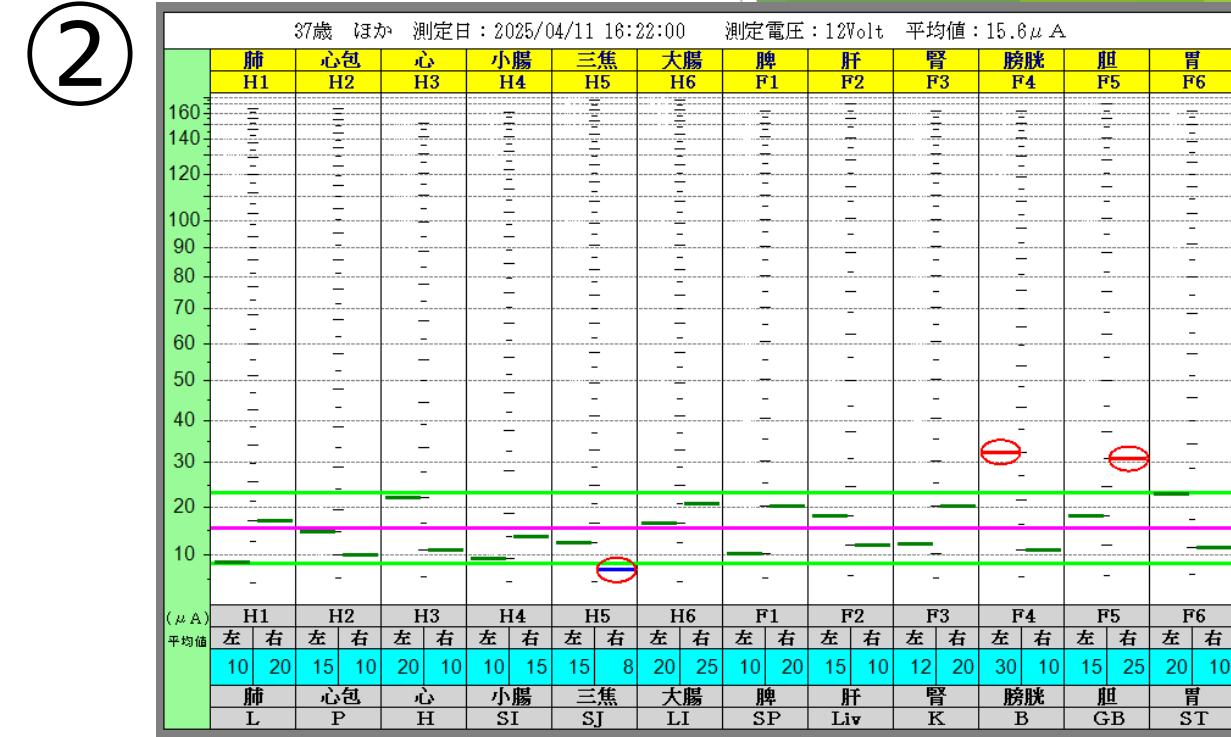
平均値の興奮及び抑制

新船橋はりきゅう整骨院 佐藤 秀治



交感神經興奮型

甲状腺機能亢進、過敏体質、
アレルギー体質、回復力高い、
気が張っている、熱実証



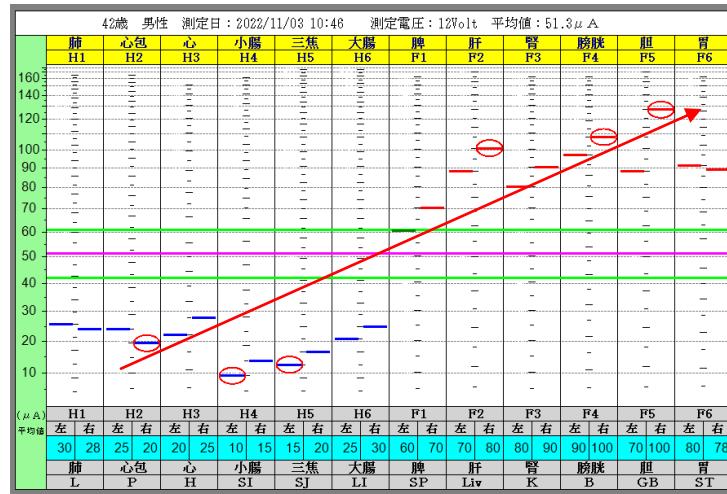
交感神經抑制型

甲状腺機能低下、胃下垂、 回復力弱い、気がぬける、 寒虚症

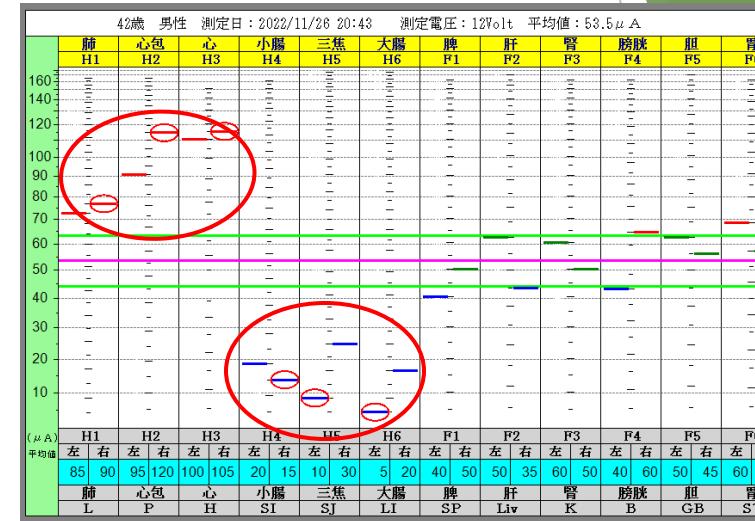
異常良導絡と症状の関係は確率的な関係を呈し、対応する症状が無くても体質的、将来的にその様な症状を呈しやすい

チャートの読み方2 H手良導絡とF足良導絡のバランス

1



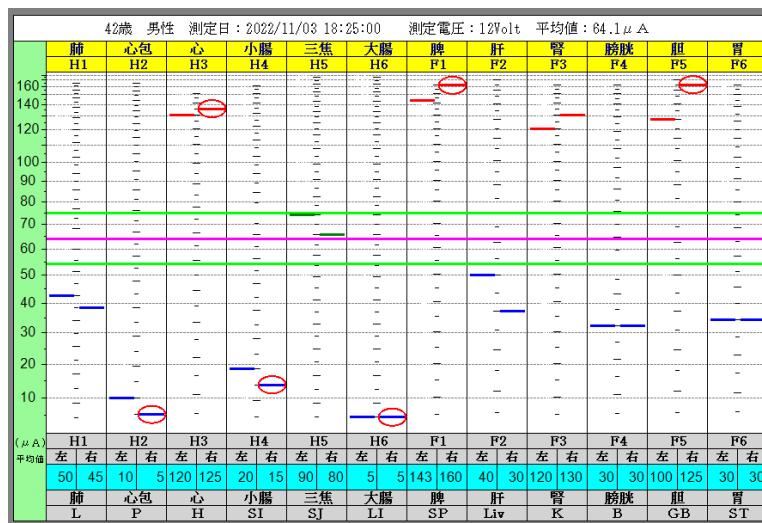
2



手足逆転型 神経、精神的ストレス、心配事多い

H4,5,6、抑制 (手の逆転2相性) 鬱症状、気がめいる、低気圧 (気象病)

3



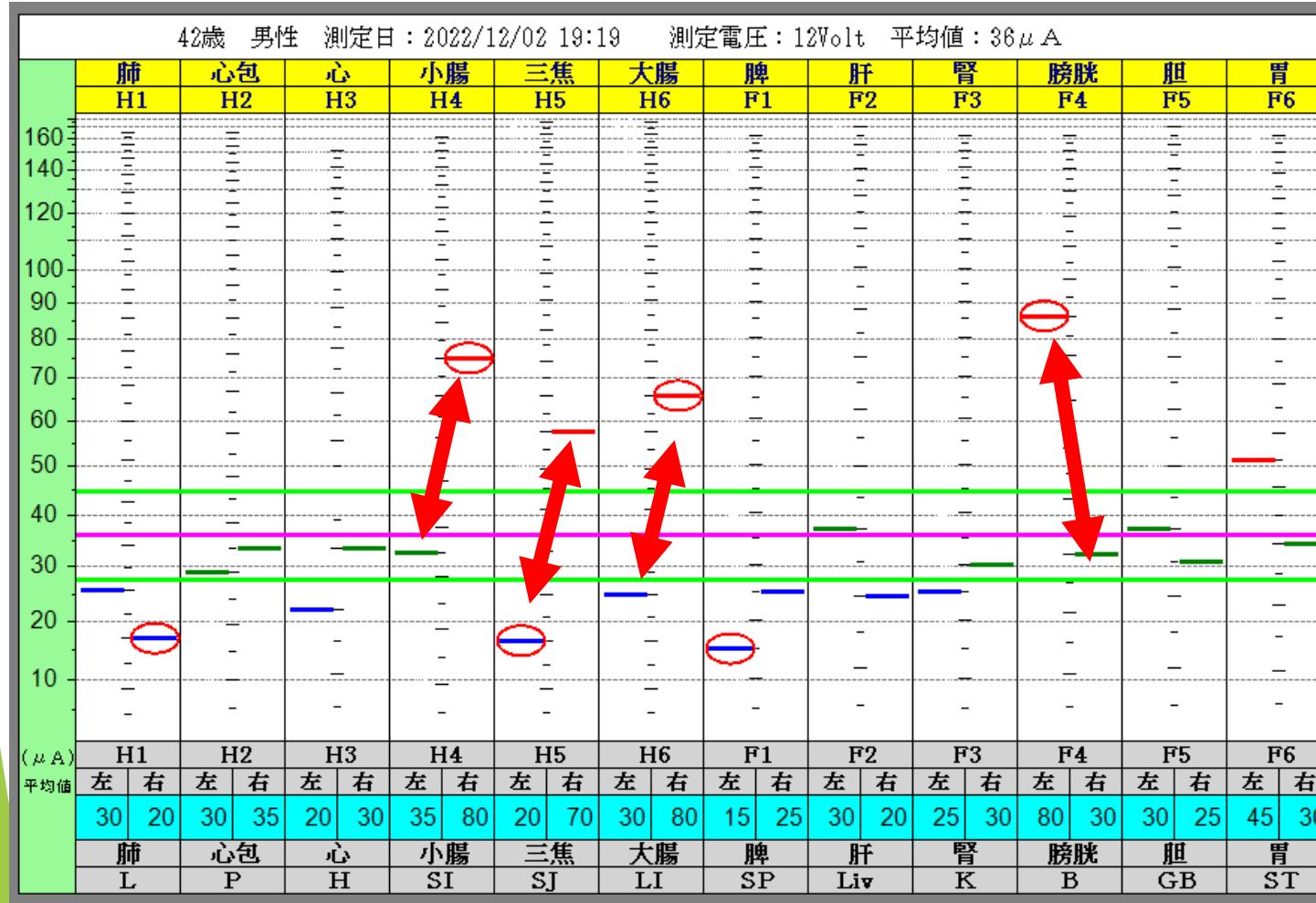
**錯乱型 方向性なし、上限を振り切ること多い
精神的緊張の連続、精神的疲労 (受験、企業戦士)
心配事、欲求不満、離別、孤独などの心因性**

異常良導絡と症状の関係は確率的な関係を呈し、対応する症状が無くても体質的、将来的にその様な症状を呈しやすい

チャートの読み方3

各良導絡の左右差

新船橋はりきゅう整骨院
佐藤 秀治

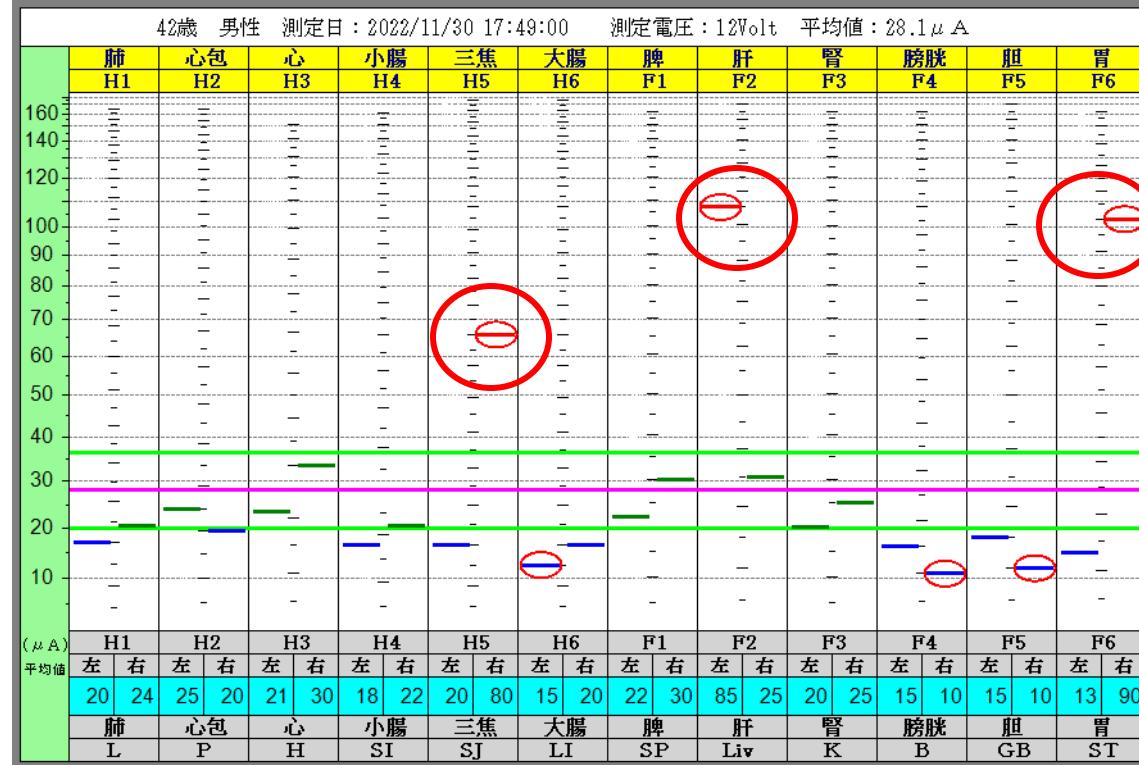


良導絡の特徴の一つである。
左右15μA以上を左右差と
する。
左右差がないのは、内科的
疾患で左右差がある場合は、
整形外科的疾患や関連部位
異常が多い

チャートの読み方4 良導絡の急性と慢性症状

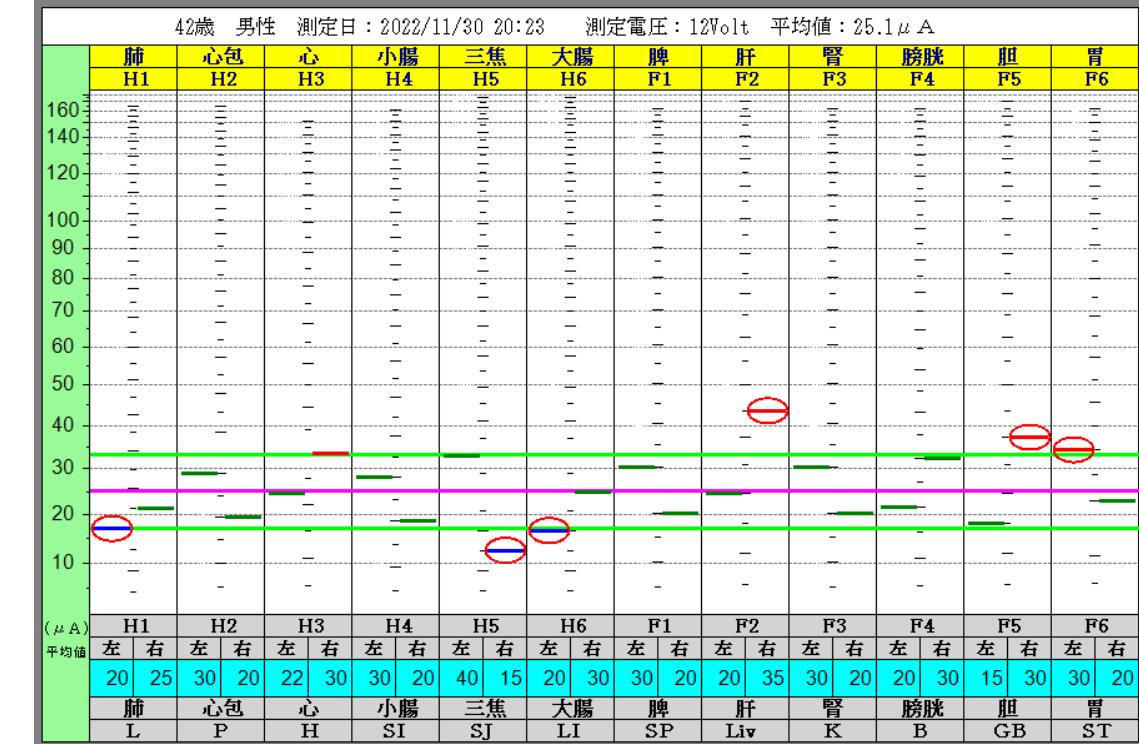
新船橋はりきゅう整骨院
佐藤 秀治

1



平均値から遠く離れる
急性で自覚症状が強い

2

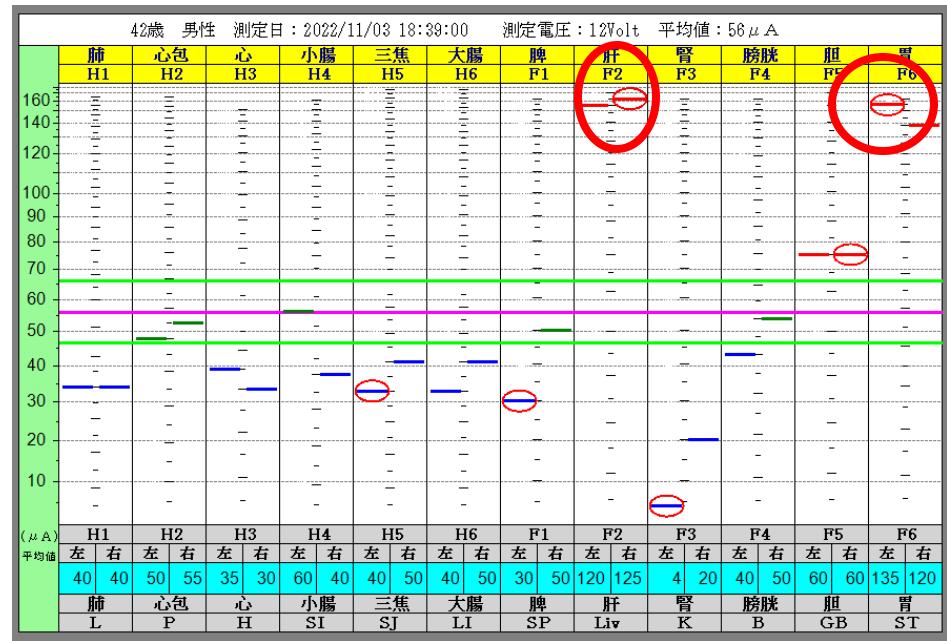


生理的範囲内に近い
慢性で自覚症状が弱い

チャートの読み方5

良導絡の興奮抑制による症状 (症候群表から) チャートパターン症状説明

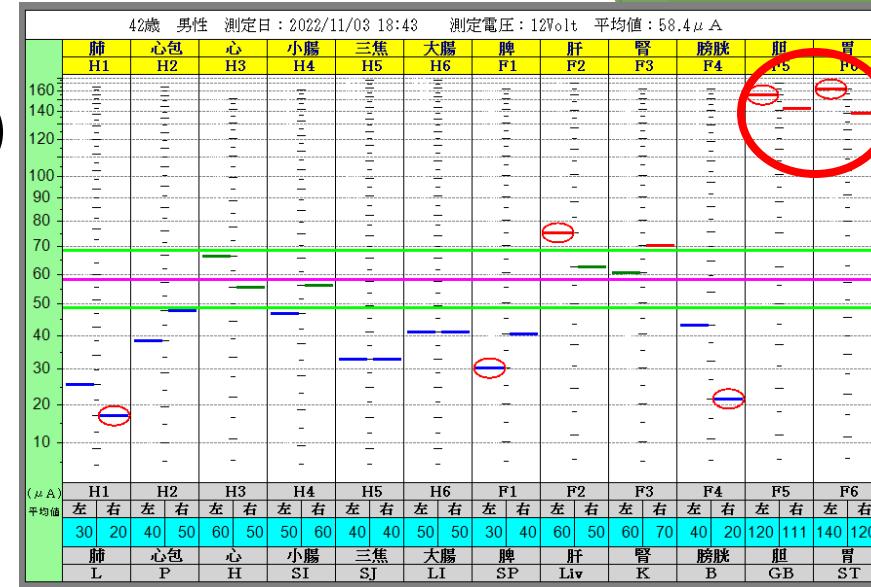
1



F2、F6興奮型（精神疲労）

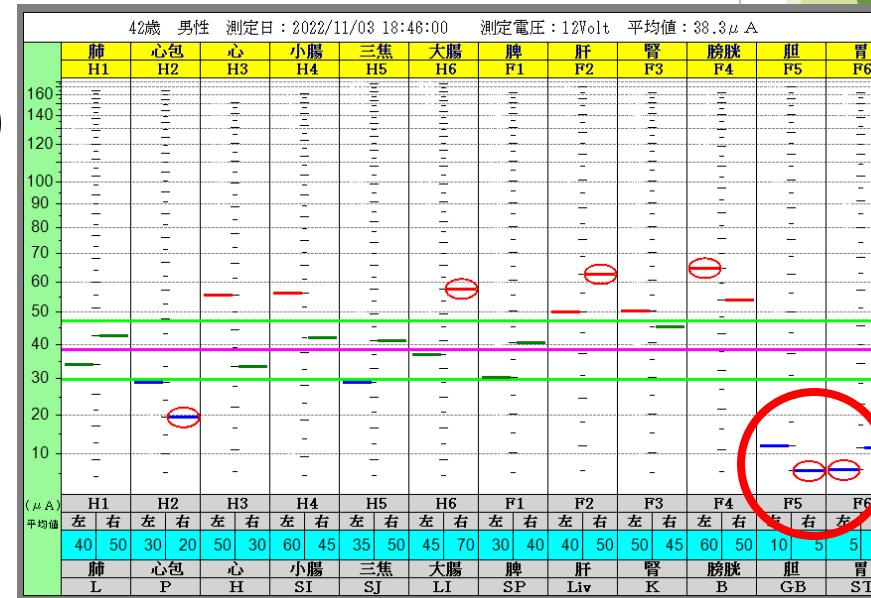
異常良導絡と症状の関係は確率的な関係を呈し、対応する症状が無くても体質的、将来的にその傾向を呈す

2



F5,F6興奮型頑張りすぎ何かと戦っている状態（病気、仕事など）

3



F5、F6抑制型（何かと戦い疲れている）

新船橋はりきゅう整骨院
佐藤 秀治

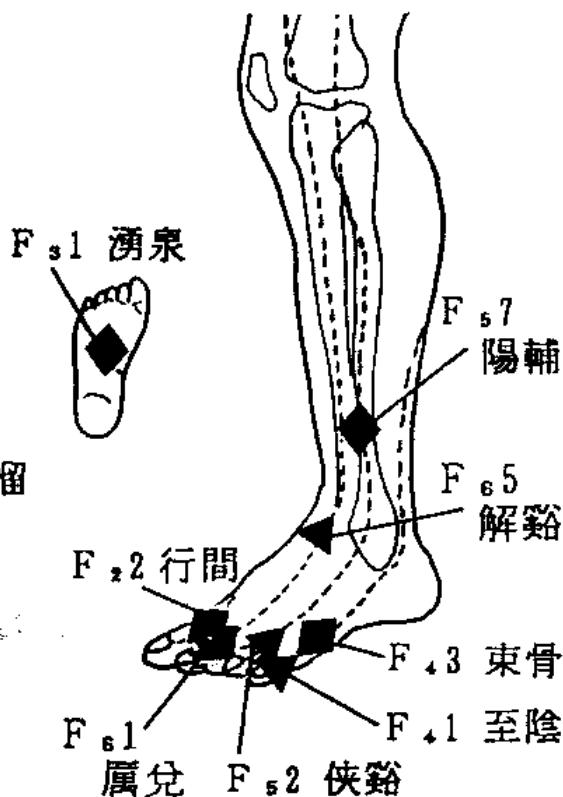
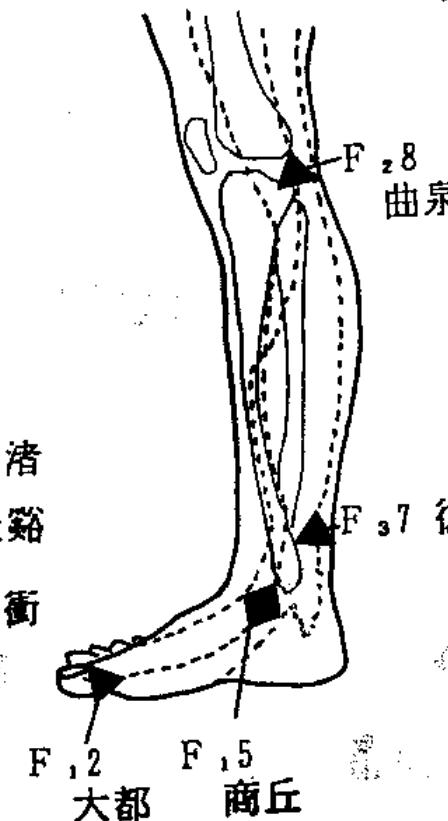
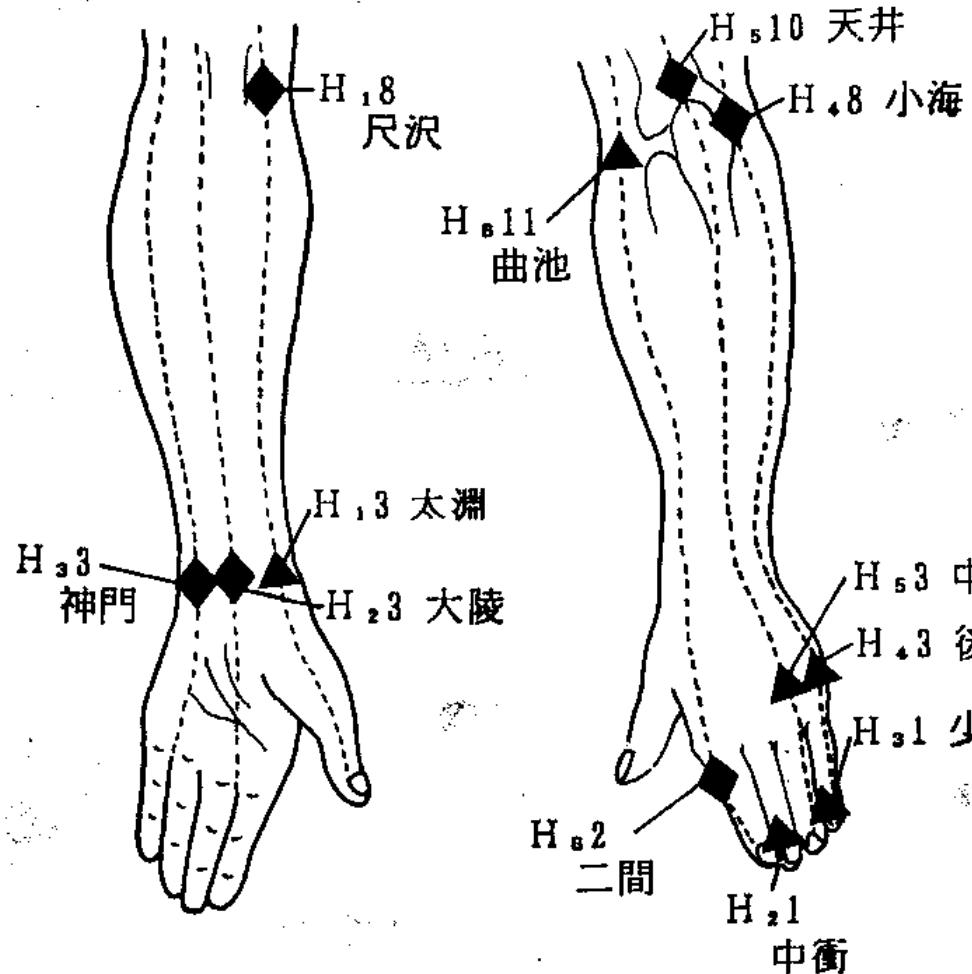
治療方法1

(1) 興奮点抑制点 興抑（調整）治療

- ◆生理的範囲を求め、異常良導絡を出し終えたなら、生理的範囲から上下に逸脱している良導絡の数値に○をつけ、正常な良導絡と区別します。上にはみ出しているものを興奮、下にはみ出しているものを抑制と呼びます。
- ◆調整を行う良導絡で興奮しているものは抑制点に○を付け、抑制しているものは興奮点に○を付けます。（チャート各良導絡の下に興奮点、抑制点が書かれています。）
- ◆興抑調整では○を付けた良導点が治療点となります。
- ◆自律神経調整鍼（良導絡鍼）を使って、ノイロメータの探査導子の金属部分を鍼柄金属部に接触させ直流通電する。（E A P）患者さんに握り導子を握らせることを忘れずに。 200 μ A、7秒通電が標準
- ◆興奮点には刺激を弱く、抑制点には刺激を強めに与えます。
- ◆手足の先にある良導点（井穴）は痛いので、金粒を用いることもあります。新船橋はりきゅう整骨院 佐藤 秀治

基礎編

治療方法2 興奮点・抑制点の部位



▲良導絡興奮點

◆ 良導絡抑制点

治療方法3

基本調整点 I型～V型

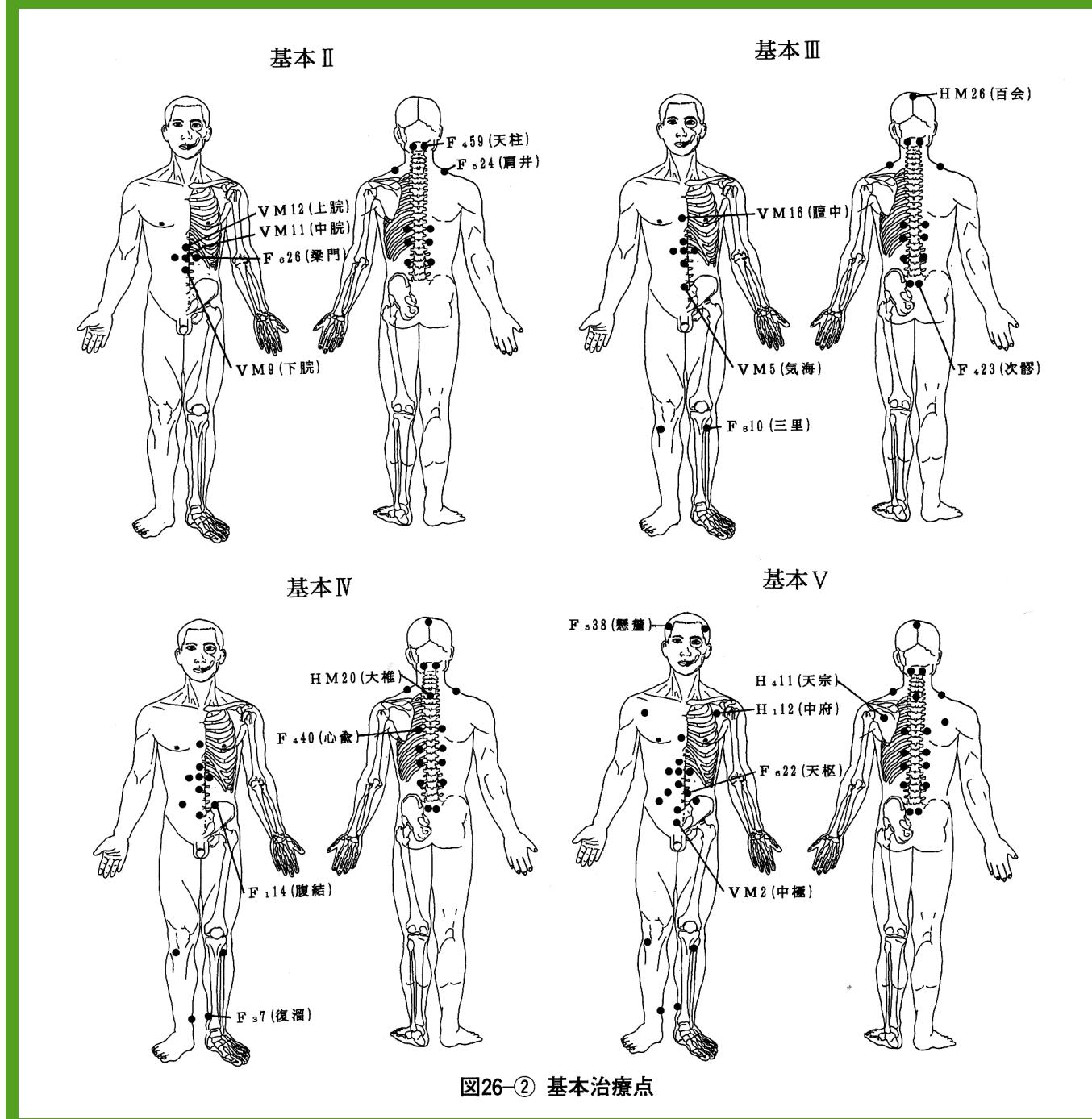
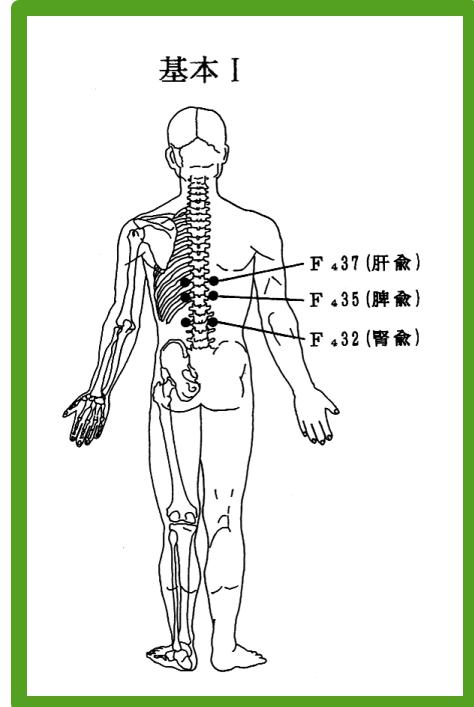
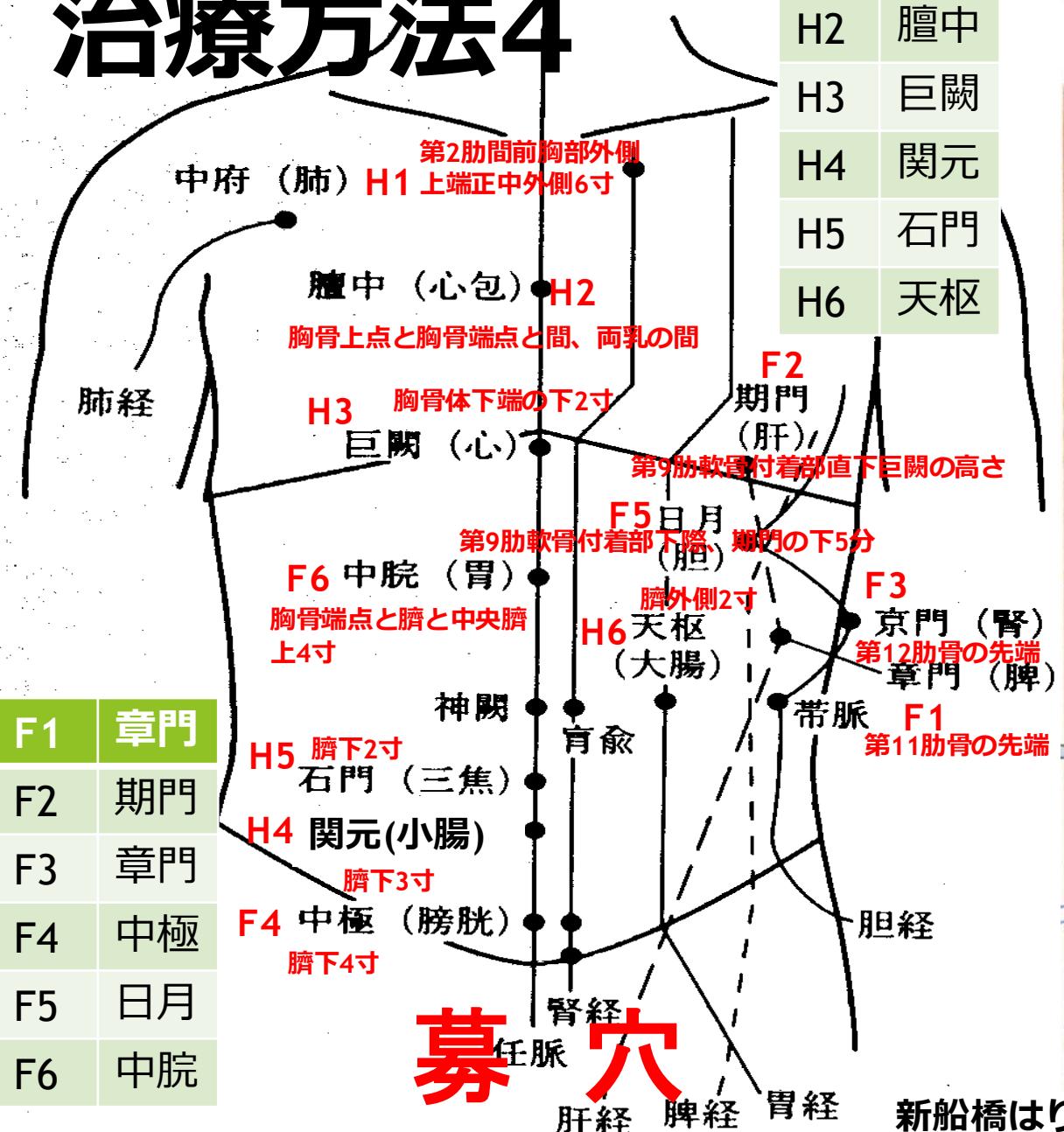
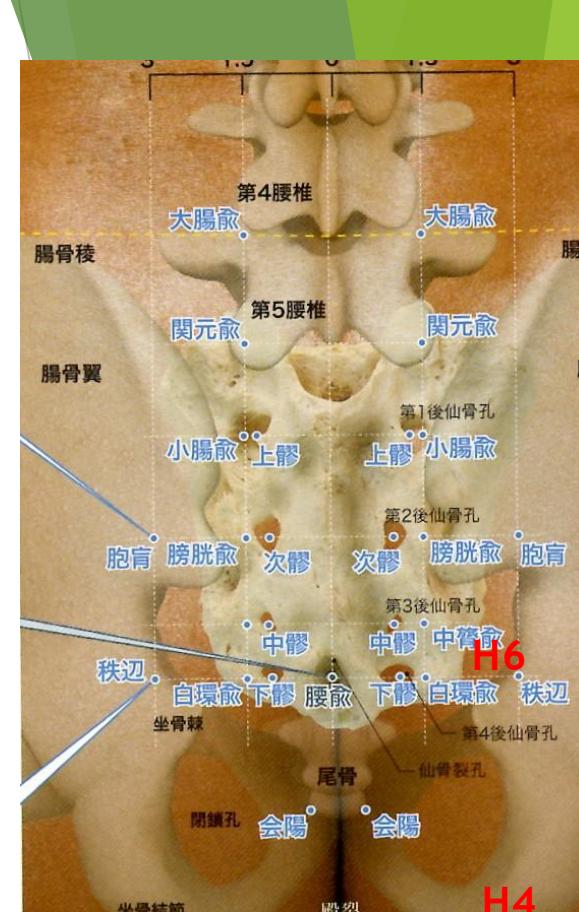


図26-② 基本治療点

治療方法4



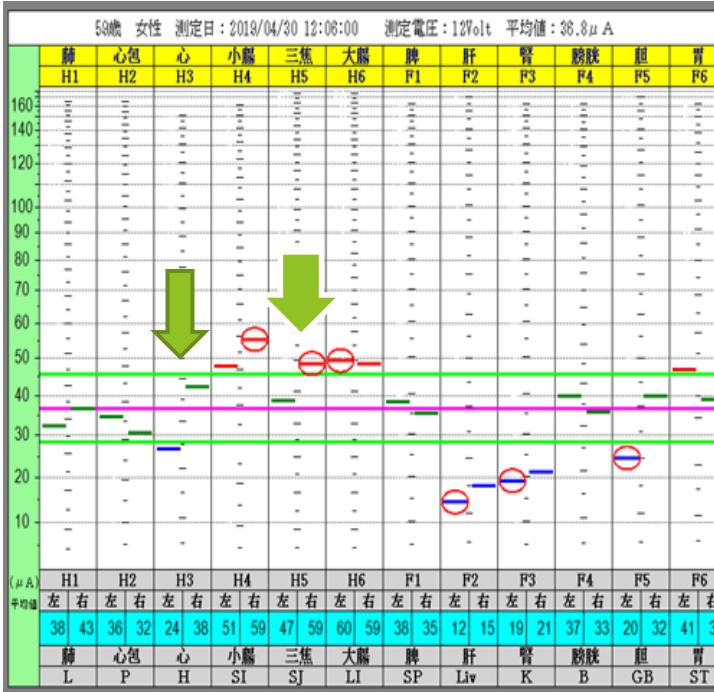
H1	太淵
H2	膻中
H3	巨闕
H4	關元
H5	石門
H6	天枢



新船橋はりきゅう整骨院 佐藤 秀治

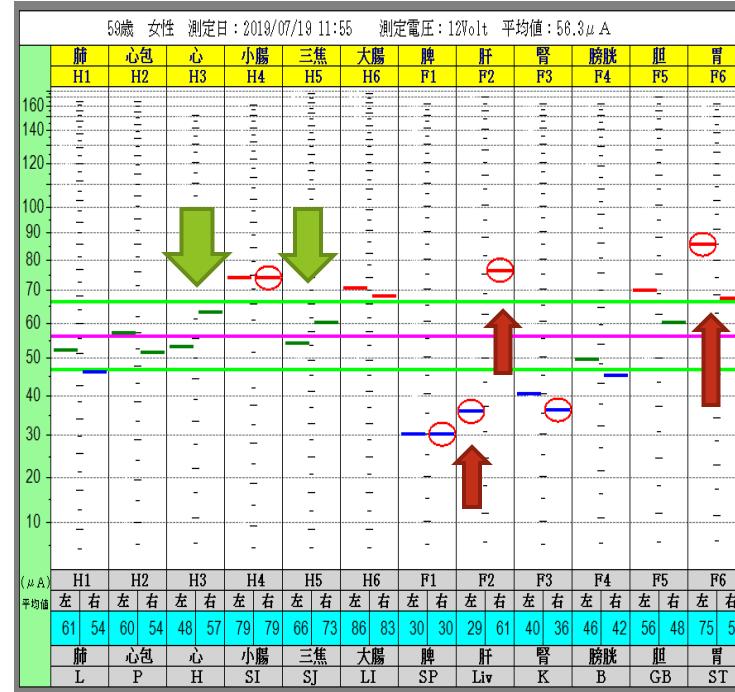
症例1

I&S 59歳 女性 主婦
 主訴 頸から右手にかけての痛みと肩関節可動域制限
 頭痛、便秘、めまい、イライラ、夕方のふらつき、
 高血圧



初診

20診後肩関節可動域制限、頭痛、めまい、ふらつき、は改善された
 便秘4日に一度が2日に一度となる。しかしイライラは未だに改善されず。



20診後

平均値が上がりH3、H5が生理的範囲に入ったことで頭痛、頸から右手にかけての痛みとふらつき、めまいが改善された。

F2、F6興の為に未だにイライラが残存しています。
 最近、町会の活動でトラブルがあった事が原因と考えられる。

新船橋はりきゅう整骨院
 佐藤 秀治

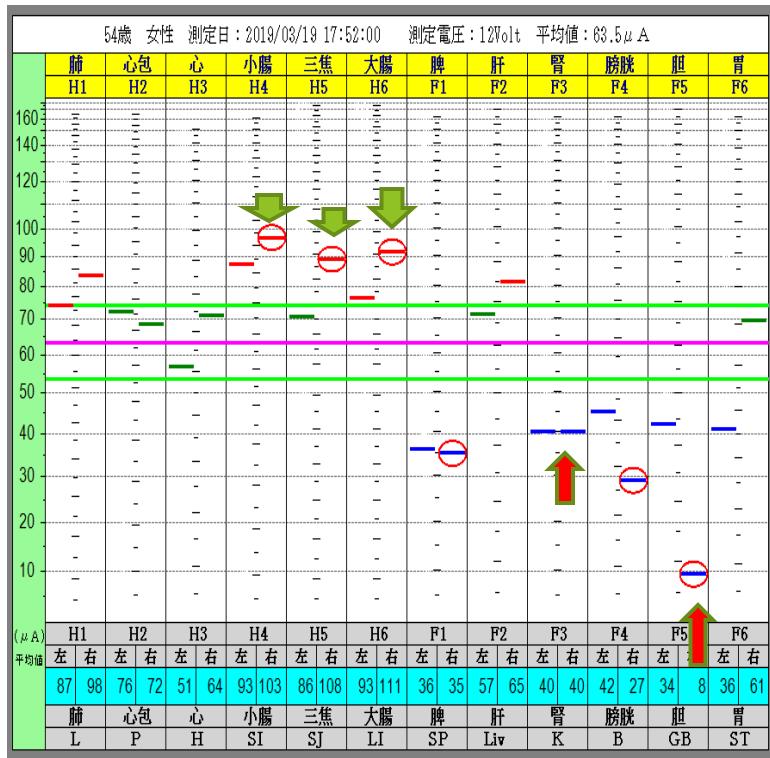
症例2

T&S 54歳 女性 保育士

主訴 1年前より突発性難聴で病院に通院

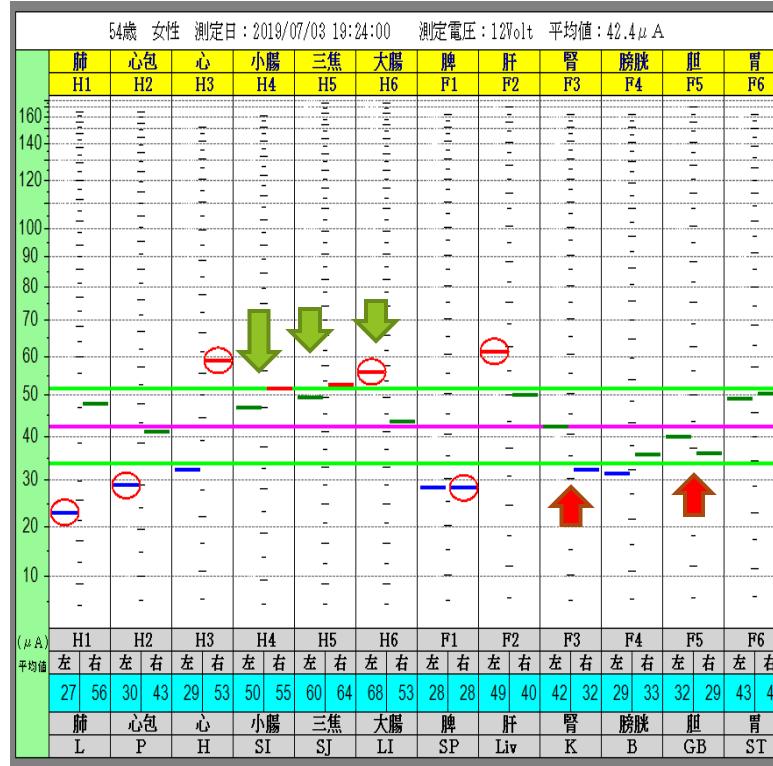
頸肩の凝り、めまい、目のかすれ冷え性 耳鳴り

(感音性障害、伝音性障害かわ不明、常にザーとなっている)



初診

20診後 頸肩のこり、めまい、
目のかすれ改善、耳鳴りが一時
消える時と全く忘れる時が多く
なる。



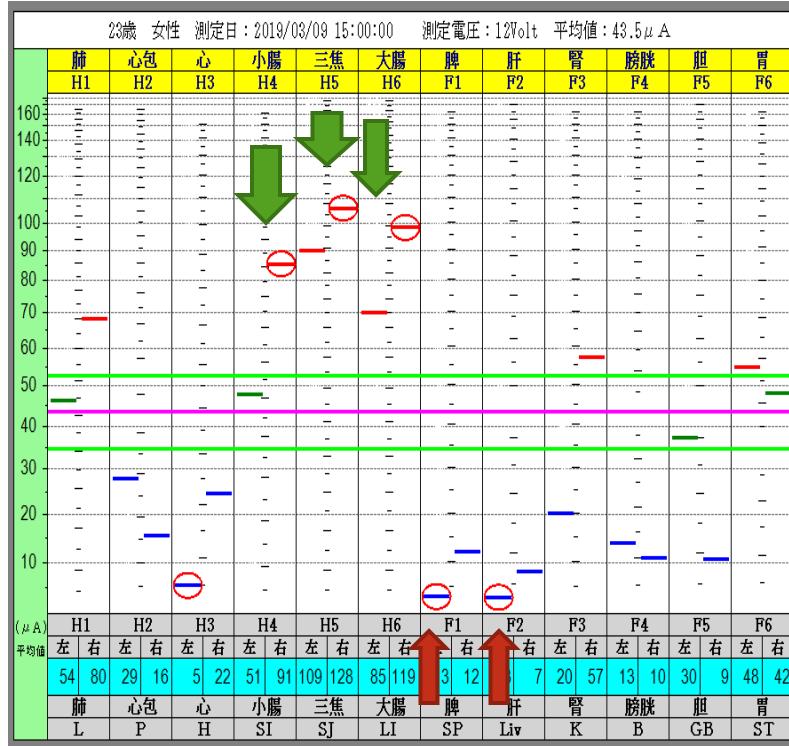
20診後

平均値は下がっていますが、バラバラが収まり安定しています。**H4,5,6**が生理的範囲に入った為、肩こり、めまい、目のかすれが改善されたと考えられます。
H5、F3,5が平均値に近づいた事で耳鳴りの改善があつたと考えられる。

新船橋はりきゅう整骨院 佐藤 秀治

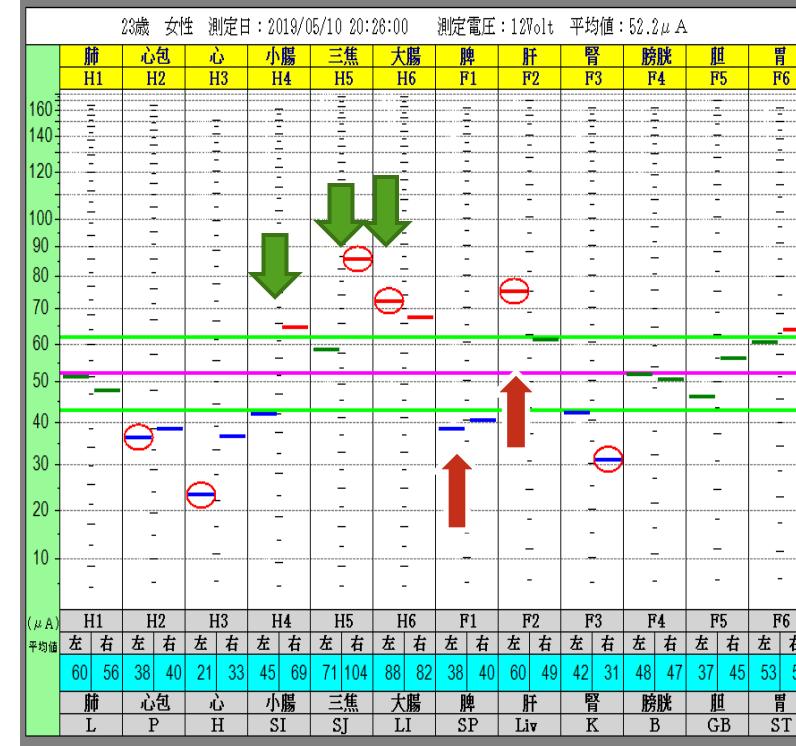
症例3

M&W 23歳 女性 会社員
主訴 食後の胃腸不良、胃部不快感、肩こり、めまい、
ふらつき、立ちくらみ（食事はカロリーメイト2本がやっと）



初診時

20診後 肩こり、めまい、
立ちくらみ改善
食事もバイキングでお腹いっぱい
食べる事が出来る様になった



20診後

平均値が上がり、バラバラが収まりました。
F1,2とH3,4,5が平均値に近づいた事で胃腸不良、
胃部不快感、肩こり、めまい、立ちくらみが
改善された。

20診で治療終了。

新船橋はりきゅう整骨院
佐藤 秀治

症例4 脱毛症・不眠症、腰部椎間板ヘルニア

S&N 年齢 58歳 男性 会社員

主訴：脱毛症 椎間板ヘルニア 不眠症

初診時は椎間板ヘルニアによる腰痛と左下肢の痺れで来院。治療経過は初診から全良導絡調整と反応良導点治療、低周波通電療法で行った。腰痛治療を続けたが、第8診で腰痛はやや改善する。

第10診頃から腰痛によるストレスでか？脱毛が顕著に表れる。治療の主体は自律神経症状の脱毛に変わってきた。

毎週2回を3ヶ月継続して改善し脱毛症の治療完了は完了した。現在腰痛のメンテナンスで継続通院中。

新船橋はりきゅう整骨院
佐藤 秀治



頭部低周波通電



脱毛部のEAP散鍼



1寸3番ディスコ鍼



治療内容

フィンガー反応良導点による基本調整
頭部、体幹から四肢にかけての低周波通電
脱毛部に直流鍼による散鍼

新船橋はりきゅう整骨院
佐藤 秀治



脱毛治療前



18診



6診



22診



12診

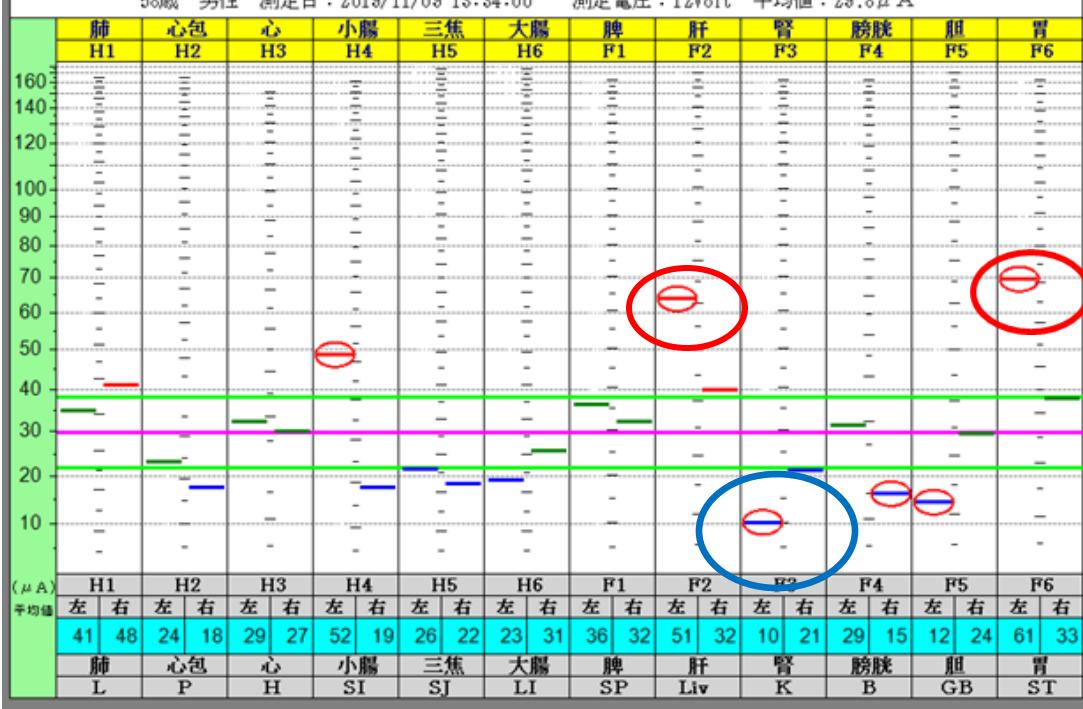


25診治療終了

新船橋はりきゅう整骨院
佐藤 秀治

週2回の
ペースで
治療する

58歳 男性 測定日: 2019/11/09 13:34:00 測定電圧: 12Volt 平均値: 29.8 μ A



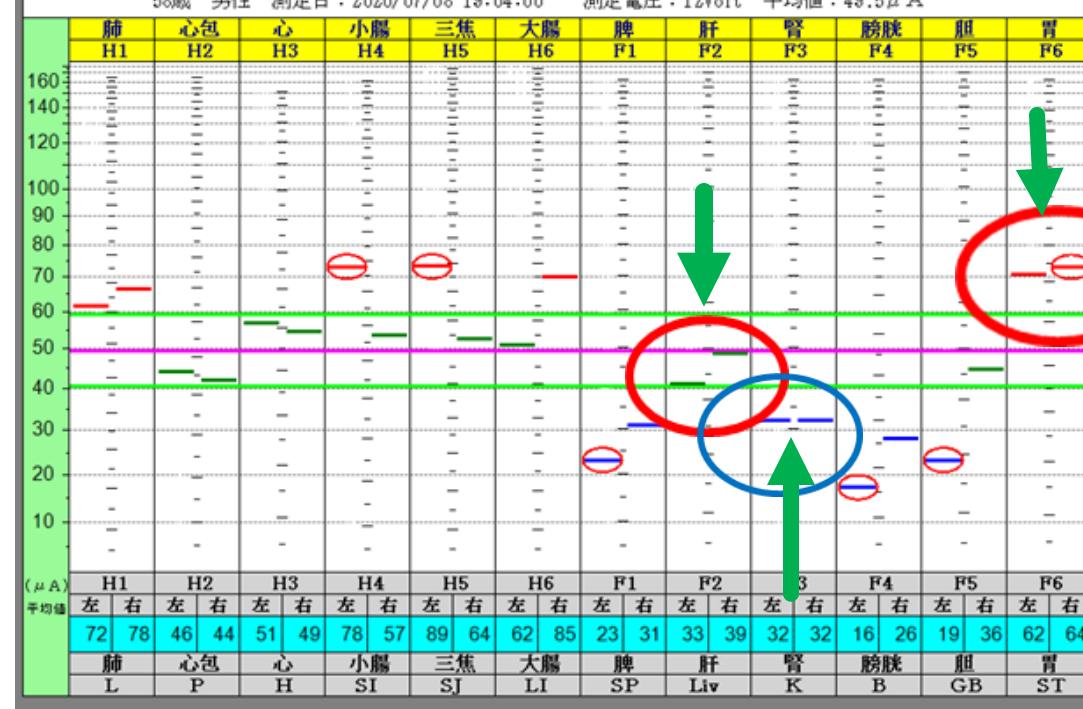
初診時

自律神経失調症診断部位8/13

自律神経カルテ23/100

初診時F2F6が興↑F3が抑↓だが35診後F2F6F3とも平均値に近づいた
脱毛症、不眠症、ヘルニア改善された。

58歳 男性 測定日: 2020/07/08 19:04:00 測定電圧: 12Volt 平均値: 49.5 μ A

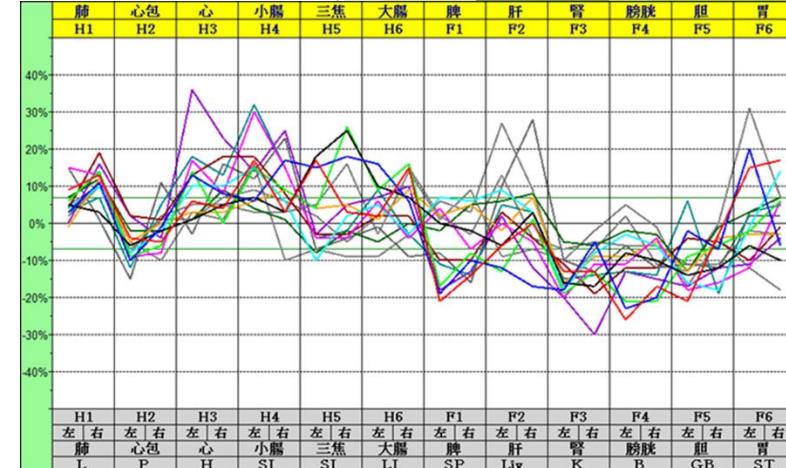


35診時

自律神経失調症診断部位2/13

自律神経カルテ15/100

新船橋はりきゅう整骨院
佐藤 秀治



比重分析: F2肝とF6胃の
興奮傾向が顕著

症例5 頭痛、めまい、耳鳴り、不眠、倦怠感、易疲労感

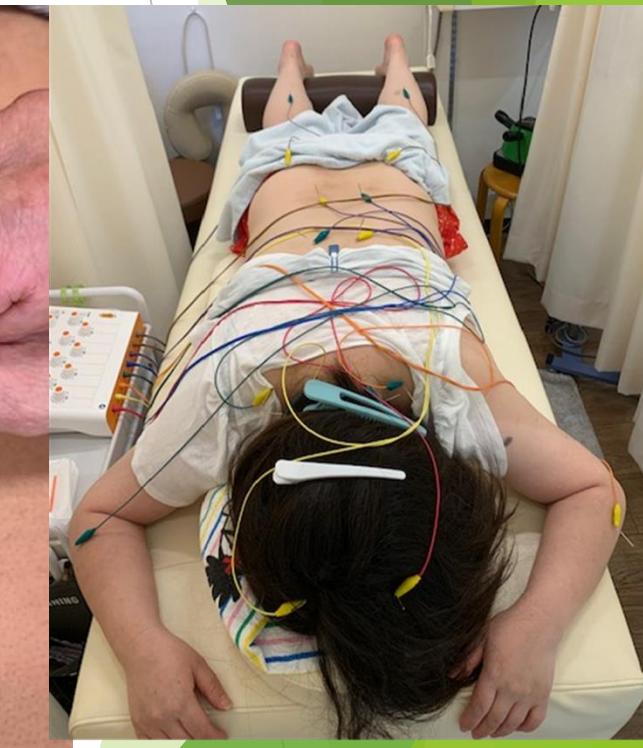
S&S 51歳 女性 主婦

ヨガインストラクターの紹介で受診

主訴は全身倦怠感と頭痛・めまい・耳鳴り・ほてり・不眠・ふらつき・易疲労感
鍼刺激に敏感で直流電気鍼は受け付けないので、単刺の1寸3分 1番 (40mm 0.14m mφ) で全身調整を行い置鍼とお灸で対応する。経過は週2回の治療を2ヶ月続けその後鍼刺激に少しずつ慣れて來たので、ユニコ製ディスコER鍼1番でEATP通電の全身調整と頭部、体幹から四肢にかけての1HZ20分の低周波通電療法に切り替える

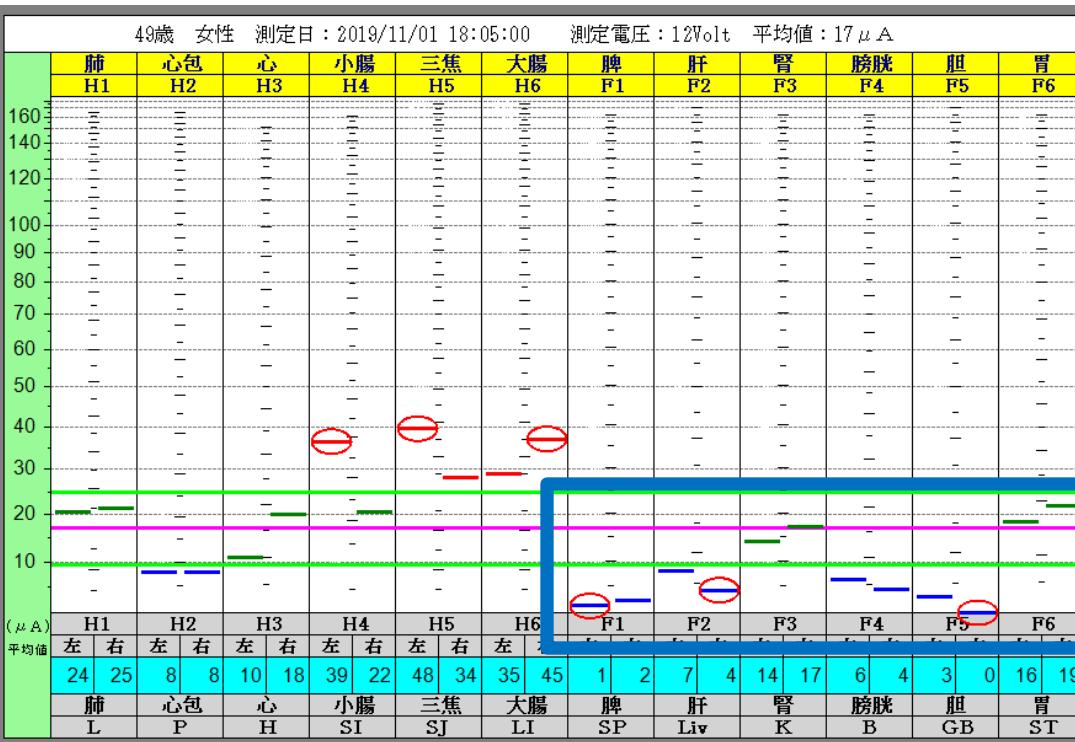


EATP通電



頭部、体幹から四肢に
かけての低周波通電療法
1HZ20分

初診



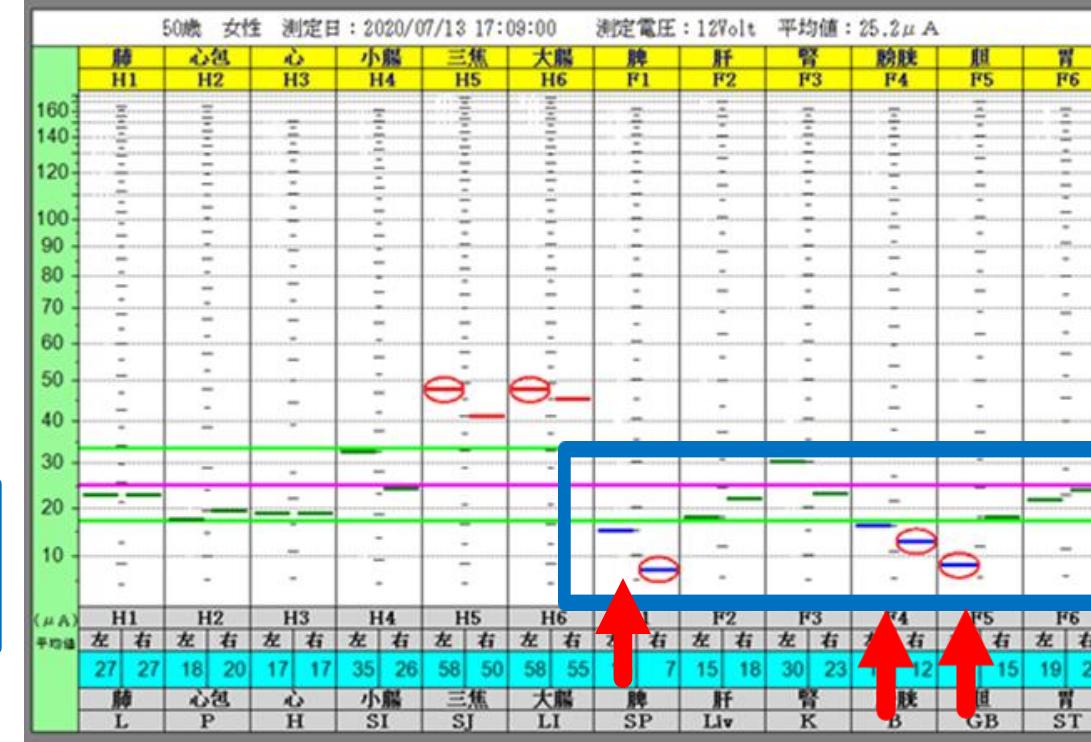
自律神経失調症診断部位9/13

自律神経カルテ56/100

初診時からFの抑制が続いていたが71診後Fが上昇し平均値に近いた。頭痛、めまい、ほてり、ふらつき、倦怠感は改善されるが不眠、耳鳴りやや残存。

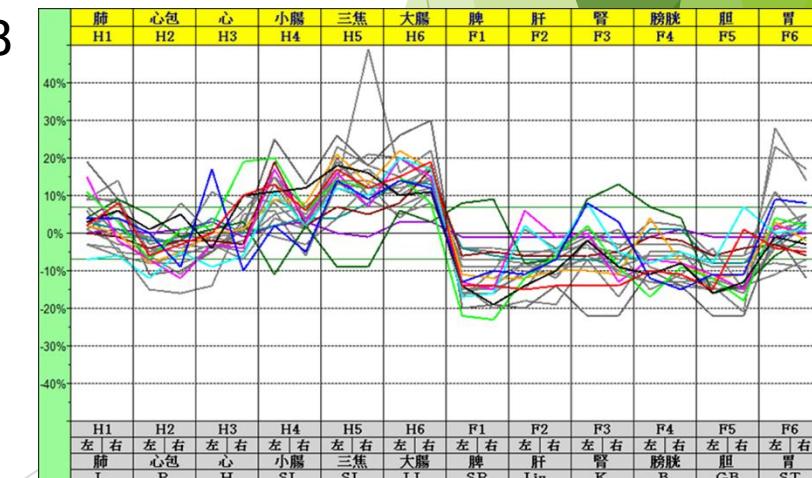
新船橋はりきゅう整骨院
佐藤 秀治

71診



自律神経失調症診断部位6/13

自律神経カルテ29/100



比率分析：F系が抑制傾向

症例6.慢性頸部緊張、下痢、のぼせ、片頭痛

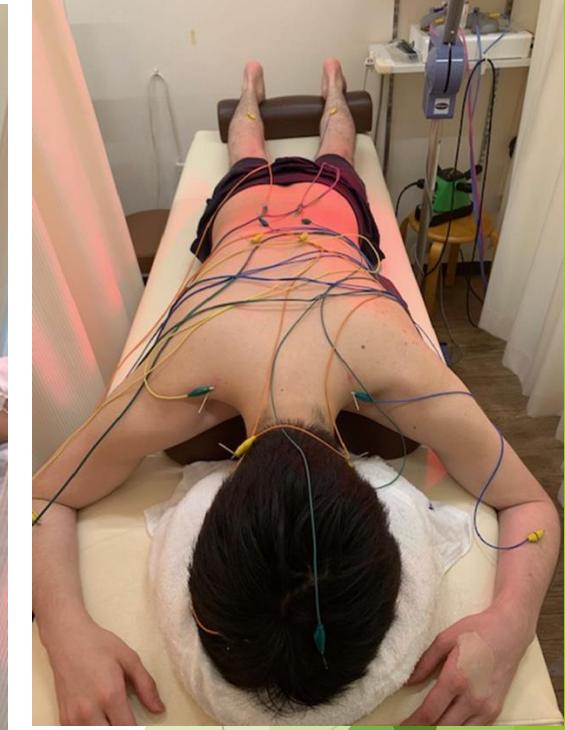
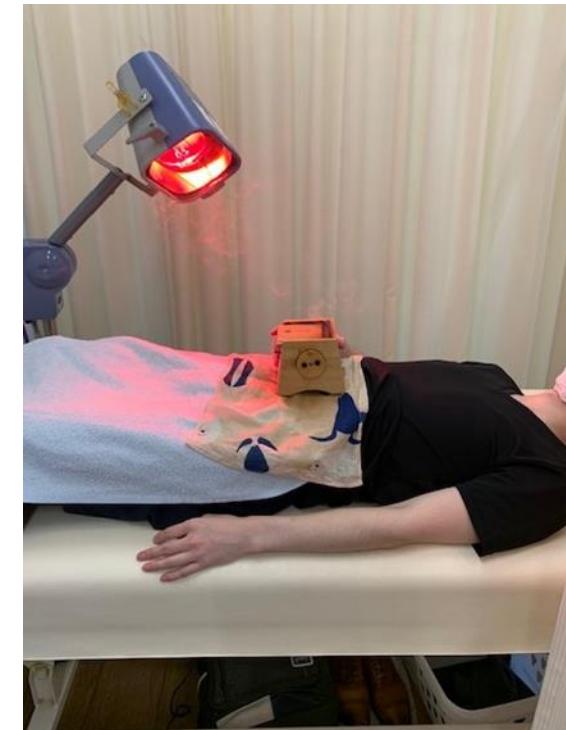
D&T 年齢 29歳 男性

コンピューター関係会社員

主訴は慢性頸部緊張、下痢、のぼせ、片頭痛、肩こりで来院、刺激に強い患者の為、初診時より5番鍼（ユニコ）にてフィンガーリアクション法にて反応良導点全身調整変則5型のあと低周波治療で対応。治療計画として週2回2か月16診とした。

治療経過として、8診目あたりから頸部緊張、肩こり、のぼせ、片頭痛軽減する。またその頃より低周波療法鍼通電療法を、頭部、体幹から四肢にかけてのMIX（2/15HZ）波に移行した。また下痢の症状が改善されないため臍四辺に箱灸を加える。

現在、頸部緊張、肩こり、のぼせ、片頭痛の症状は無くなり下痢の症状のみ残存する。

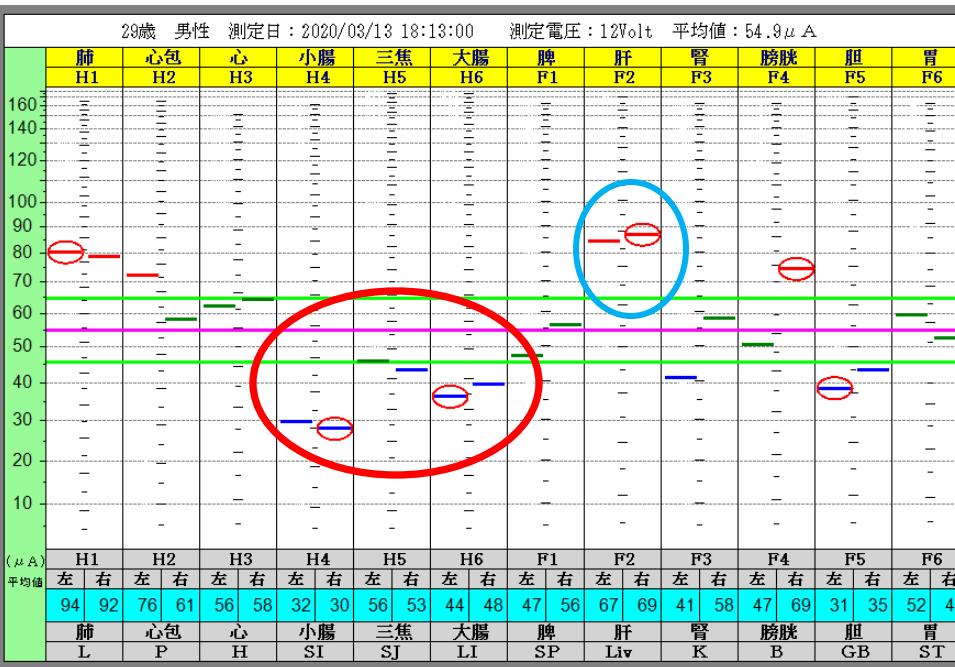


臍四辺に箱灸

頭部、体幹から四肢にかけての低周波通電療法。
MIX波20分

初診時

24診後

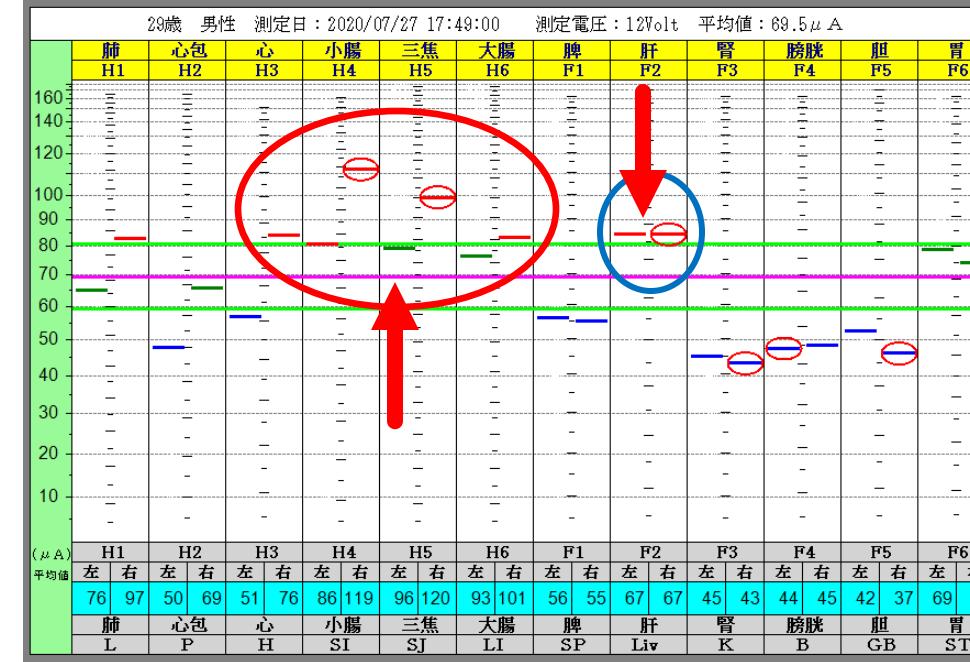


手の逆転2相性(陰↑陽↓)を認める

自律神経失調症診断7/13

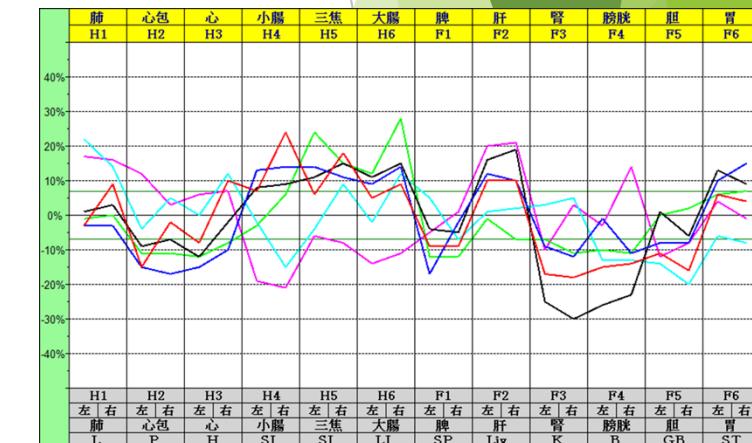
自律神経カルテ20/100

24診後、手の逆転2相性が改善されF2 (肝) が平均値に近づいた
片頭痛、のぼせ、慢性頸部緊張改善、下痢残存する現在も治療継続中



自律神経失調症診断2/13

自律神経カルテ6/100



比重分析：F2肝の興奮傾向
が顕著

症例7 2型双極性障害

A&S 年齢 50歳 男性 大学職員
既往歴なし、家族歴なし

9ヶ月の休職期間中、心療内科で診察と
処方を受けるが効果を上げるため
休職3ヶ月後に当院に受診

基本調整変形5型、DLPFC、腹部刺鍼
5診目より四関穴追加
10診目以降頸叢刺法追加
20診以降症状改善され職場復帰する

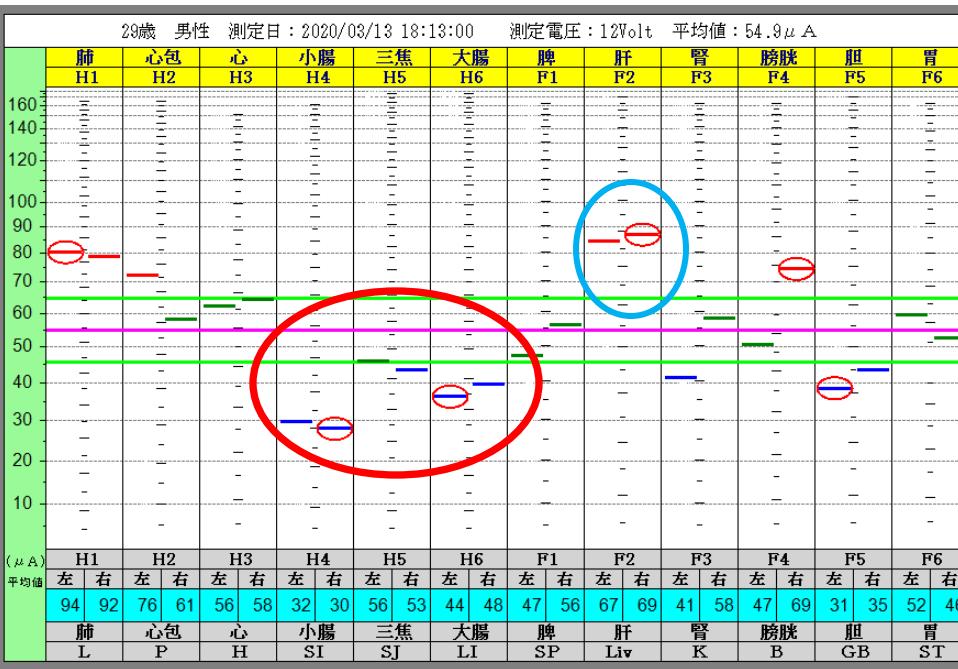


頸叢刺法

DLPFC、腹部刺鍼

初診時

24診後



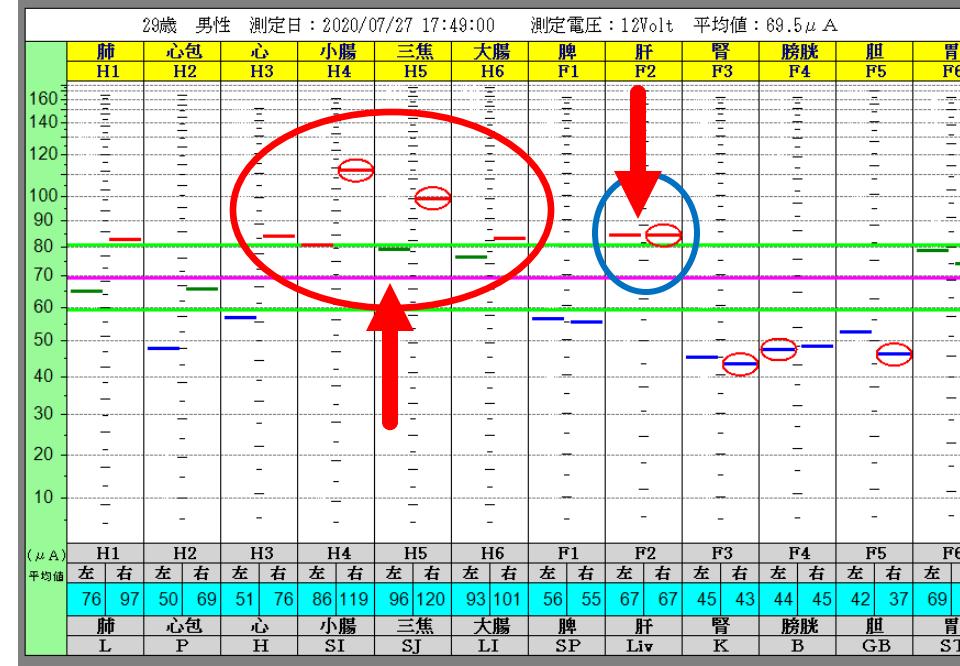
手の逆転2相性(陰↑陽↓)を認める

自律神経失調症診断7/13

自律神経カルテ20/100

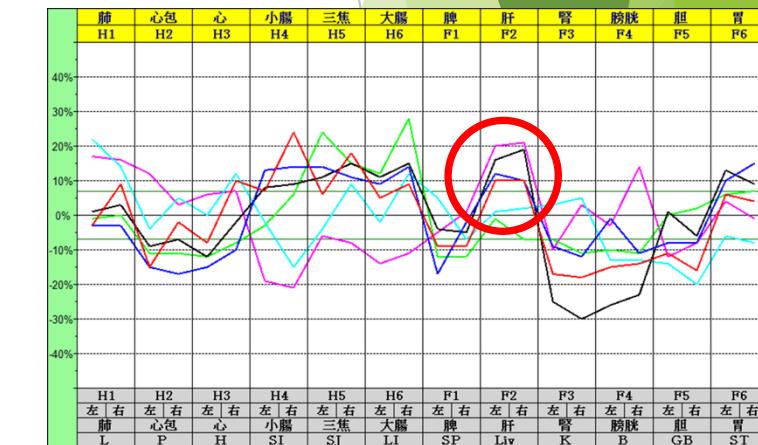
初診時手の逆転2相性と肝の興を認める。24診後手の逆転2相性が改善されF2（肝）が平均値に近づいた。比重分析F2肝の興奮傾向顕著

新船橋はりきゅう整骨院
佐藤 秀治



自律神経失調症診断2/13

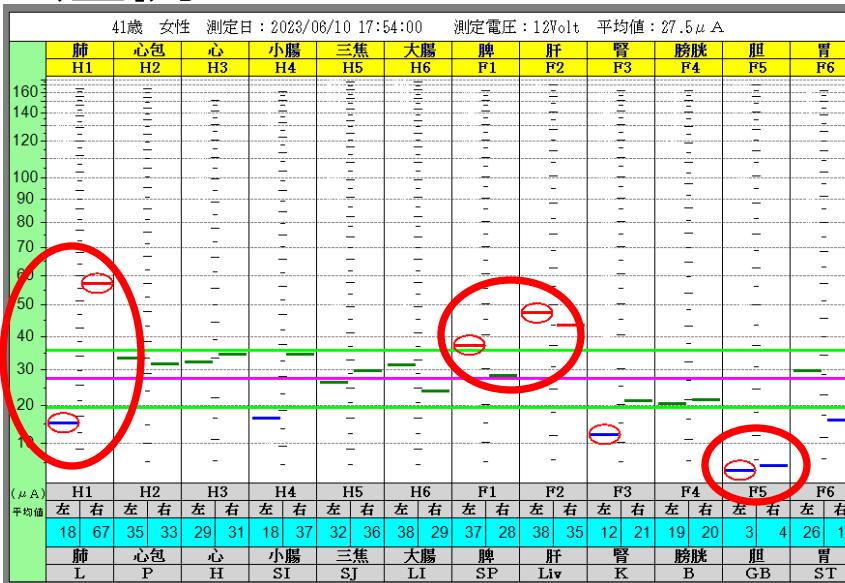
自律神経カルテ6/100



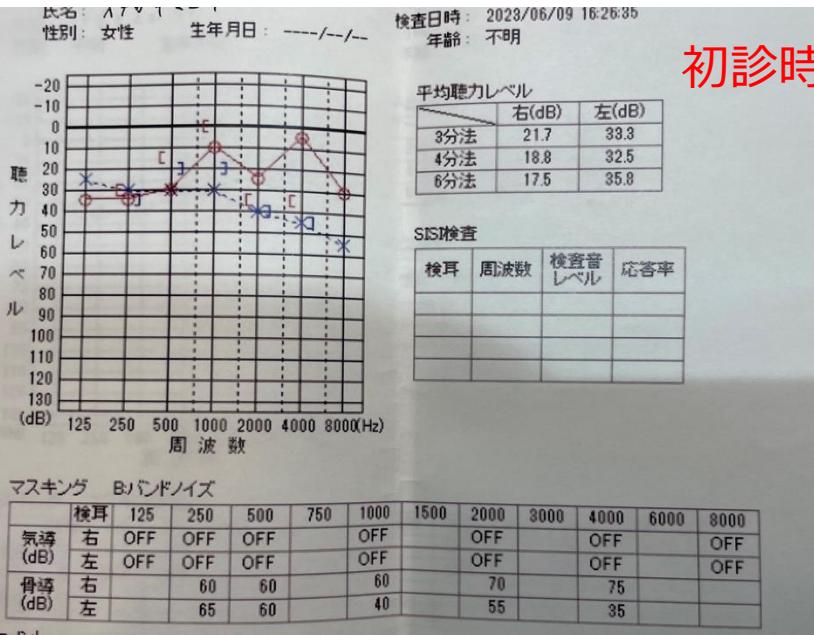
比重分析：F2肝の興奮傾向が顕著

症例8

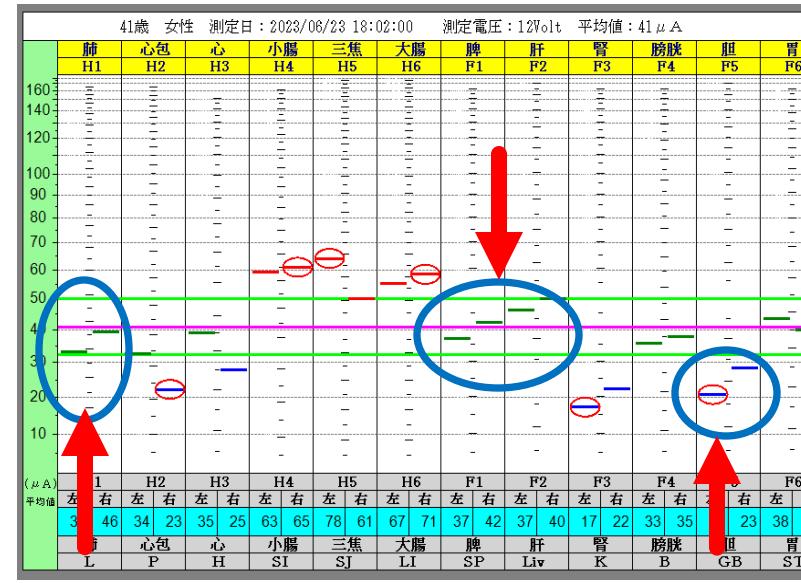
初診



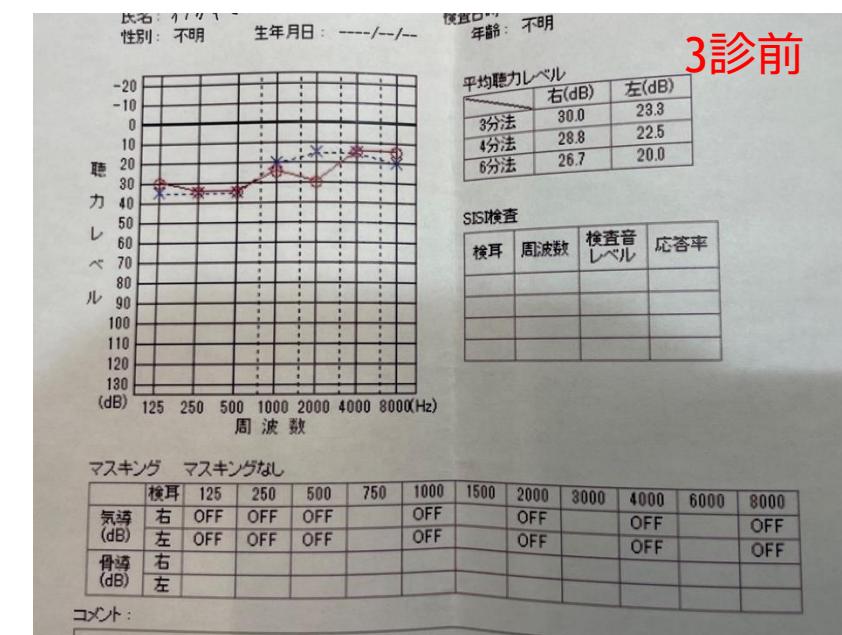
自律神経失調症診断8/13
自律神経カルテ10/100



3診



自律神経失調症診断10/13
自律神経カルテ4/100



41歳女性主婦
(既往歴なし)
(家族歴なし)

夫婦喧嘩後、左耳突発性難聴、不眠、食欲不振、無気力、肩こり、鬱症状で来院。

基本調整変形5型、耳門、聴宮、聴会の3穴透鍼、頸叢刺法により3診後、鬱症状、突発性難聴改善、夫婦円満となる。

平均値上昇、F5胆の抑の改善、F1脾F2肝の興の改善、H1肺の左右差の改善、聴力検査の改善が見られた

新船橋はりきゅう整骨院
佐藤 秀治